



図3 落下していた羽化不全のミカドアゲハ (神吉正雄撮影) .



図4 落下していた場所. 正面の樹はタイサンボク (神吉正雄撮影) .

があり、食痕らしきものも確認できた。標本は一本松正道氏が保管されている (図3, 4)。

○参考文献

日本チョウ類保全協会編, 2012. フィールドノート日本のチョウ. 誠文堂新光社

梅田博久, 2014. 妙見山 (大阪府能勢町) でミカドアゲハを目撃. きべりはむし 37 (1) : 39.

広畑正巳, 2016. 兵庫県におけるミカドアゲハの記録. きべりはむし, 39 (1) : 42-43.

岡田善嗣・近藤伸一, 2018. ミカドアゲハを兵庫県加古川市内で採集. きべりはむし, 41 (1) : 26.

(Masao KAMIYOSHI 兵庫県宝塚市)

チャオビトビモンエダシャクを兵庫県加古川市と兵庫県市川町で確認

高橋輝男

チャオビトビモンエダシャク (*Biston strataria*) はシャクガ科エダシャク亜科のガであり、その分布域は大図鑑 (井上他, 1982) によると北海道, 本州中部 (北関東か

ら中部の山地) まで広く分布しているが、ネット上の記録では広島県呉市で観察された記録がある。最近、宇野 (2019) が 2015 ~ 2016 年の宝塚市と西宮市におけるチャオビトビモンエダシャクの記録を報告しているが、兵庫県での本種の記録はそれ以外にはない。筆者はそのチャオビトビモンエダシャクを 2015 年 3 月 11 日に兵庫県加古川市志方町でまた 2020 年 3 月 13 日に兵庫県神崎郡市川町で確認、採集しているのでここに報告する。

1. 兵庫県加古川市での観察

観察場所は兵庫県加古川市志方町にある加古川市立志方東公園内である。2015 年 3 月 11 日午前 9 時前に公園を散歩していたところ、桜の幹にチャオビトビモンエダシャクがいるのを見つけ写真に収めた (図1)。その時は広島で見つまっていることを知っていたので、報告をせずに済ませてしまった。この個体は写真で見ると全く傷のない完品である。



図1 加古川市のチャオビトビモンエダシャクの生態写真 (2015 年 3 月 11 日) .



図2 市川町のチャオビトビモンエダシャクの生態写真 (2020 年 3 月 13 日) .



図3 市川町のチャオビトビモンエダシャク (開張 55mm) .

2. 兵庫県市川町での観察・採集

採集場所は兵庫県市川町屋形にある播但連絡道路市川パーキングエリア内である。2020年3月13日午後9時20分頃同所を訪れたところ、壁にチャオビトビモンエダシャクがいるのを見つけた。その時の生態写真とその展翅写真が図2および3である。

本種の出現時期は大図鑑では春、ネットを検索すると5月となっているが、筆者はいずれも3月の中旬に観察している。宇野の報告でも採集日は3月8日と3月20日であり、本種の発生は3月の早春からと思われる。

○参考文献

- 井上寛他, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社
 宇野宏樹, 2019. 宝塚市の緑地公園で得られた蛾類の記録I. きべりはむし, 42(2): 32-39.

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)



図1 市川町のエグリキリガの生態写真.



図2 市川町のエグリキリガ (開張 26mm) .

(Teruo TAKAHASHI 兵庫県神崎郡福崎町)

エグリキリガを兵庫県市川町で採集

高橋輝男

エグリキリガ (*Teratoglaea pacifica*) はヤガ科ヨトウガ亜科のガであり、その分布域は大図鑑(井上他, 1982)によると北海道から九州まで本土域に産地が分散しやや高地に産するとなっている。高島(2001)によると、本県においては三日月町での採集例が唯一となっている。筆者はエグリキリガを2020年3月30日に兵庫県神崎郡市川町で採集したのでここに報告する。

採集場所は兵庫県神崎郡市川町屋形の播但連絡道路市川パーキングエリア内である。2020年3月30日午後10時頃、当該施設のコンクリート地面にいるのを見つけた。その時の生態写真と展翅写真がそれぞれ図1および2である。

エグリキリガの特徴は前翅の翅型である。翅頂付近で前縁部が1/3にわたって浅くえぐられ、外縁も翅頂の直下で内方に湾入する。今回の採取場所は標高約110mの地点であり、他の報告にあるような高地ではない。食草はマツ科のアカトドマツとされているが付近の山にそれが自生しているかは不明である。

○参考文献

- 井上寛他, 1982. 日本産蛾類大図鑑. 講談社
 高島 昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科(兵庫県産蛾類分布資料・20). きべりはむし, 29(1): 34-49.

兵庫県姫路市山田町でキイロトゲエダシャクを採集

高橋輝男

キイロトゲエダシャク (*Apochima praeacutaria*) はシャクガ科エダシャク亜科のガである。その分布域は本州、四国、九州、対馬、屋久島、奄美大島、沖縄本島、台湾となっている。インターネットで調べると、九州、対馬や四国高知県、徳島県などでの報告が散見される。しかし本誌ではキイロトゲエダシャクに関する報告は見当たらない。筆者はキイロトゲエダシャクを2020年4月1日に兵庫県姫路市山田町で採集したのでここに報告する。

採集場所は姫路市山田町南山田にある姫路市立藤ノ木山自然公園である。2020年4月1日午前8時半頃に当該公園を訪れたところ建物の壁に静止しているキイロトゲエダシャクを発見し採集した。図1および2はそれぞれその生態写真と展翅写真である。3月31日午後10時頃にも同公園を訪れたがその時はいなかったのその後飛来したものが翌朝まで残留していたものであろう。

キイロトゲエダシャクの食草は不明とされている。採集地の藤ノ木山公園は姫路市の東北端に位置し直ぐ東は加西市にまた北は神崎郡福崎町に接する位置にある。藤ノ木山の三角点は標高296mであるが採集場所の藤ノ木山自然公園はそれより下で標高は100m以下と思われる。